



長府毛利邸(長府惣社町)では
初上演の奇兵隊ミュージカル



長府庭園(長府黒門東町)で餅つき

しものせき トピックス

Shimonoseki Topics

旧秋田商会ビル 屋上庭園一般公開

通常は非公開の旧秋田商会ビルの屋上庭園を、4月29日(月)に無料で一般公開しました。建物は2015平成27年に100年を迎える大変貴重なもので、屋上の日本庭園は、現存するものの中では世界最古級ともいわれています。屋上には、日本家屋やさまざまな草花などがあります。この日は貴重なナンジャモンジャ(ヒトツバタゴ)の木が開花し、訪れた観光客を魅了していました。



「下関にこんな屋上があったとは!」と驚きながら庭園を散策する家族。右上の木がナンジャモンジャ。

長府毛利邸・長府庭園 記念イベント

4月28・29日、長府毛利邸では公開15周年を、長府庭園では開園20周年を記念してイベントがあります。毛利邸は14代当主の毛利元敏公が建てた情緒あふれる邸宅です。長府庭園は、長府毛利藩の家老格・西運長の屋敷跡で、四季折々の庭園美が楽しめる廻遊式日本庭園です。

当日は両施設でイベントがあり、観光客は新緑や花などを楽しみながら春のひとときを過ごしました。

彦島老の山花まつり

4月29日(月)、彦島老の山公園で第33回彦島老の山花まつりがありました。老の山公園は響灘の眺望を楽しめる他、桜やツツジの名所として市民に広く愛されている人気の総合公園です。当日はきれいなツツジに囲まれ、こども平家踊りや園児によるダンスとマーチング、吹奏楽などの催し物があり、大勢の人でにぎわいました。特に豪華景品のビンゴ大会では盛り上がりを見せていました。



本村小学校平家踊りを受け継ぐ子の会によるこども平家踊り

帆船「日本丸」 下関港に寄港



独立行政法人航海訓練所運航の帆船「日本丸」が5月4日〜8日まで下関港(あるかぼーと)に寄港しました。同船は、帆を広げた姿から「太平洋の白鳥」と呼ばれています。5日には一般公開が、6日には

セイルドリルがあり、船員を指す実習生により手際よく帆が張られました。約1時間後、日本丸は「太平洋の白鳥」にふさわしい優美な姿になり、多くの見物客から、盛大な拍手が送られました。



上るう参拝で外八文字を披露する大夫(赤間神宮)

しものせき 海峡まつり

を披露する上ろう道中や赤間神宮への参拝をはじめ、しゃもじを打ち鳴らしながら踊る八丁浜総踊りや、よろいかぶとを身に付けた源平武者行列などがありました。勇壮な源平船合戦が海峡で繰り広げられ、よらい武者が乗り込んだ約80隻の船が合戦を再現しました。

5月2日〜4日に、初夏の関門海峡を彩る恒例の「しものせき海峡まつり」が盛大に開催されました。



源平武者行列(あるかぼーと前)



八丁浜総踊り(あるかぼーと前)

4日には、巖流島で武蔵・小次郎決闘の再現をはじめ、関門対抗綱引き大会やファミリーピクニックコンサートなどもあり、期間中39万人の出入でにぎわいました。



タルとマルの赤ちゃん「タケル君」に決定!

くすくす大きくなってほしいという願いを込めて「タケル」に決定しました。

ゴマフアザラシの「マル」と「タル」の赤ちゃんが、2月7日に海響館あるかぼーとで誕生しました。マルとタルの4頭目の雄の赤ちゃんです。愛称は、健康です。

人と人とのつながりに興味があった中畝さん。自身の通う大学で協力隊のことを知り、地域に密着して暮らす山村の生活に興味を持ったそうです。第一歩を踏み出すべく大学を2年で休学し、隊員になりました。ナシとホタルにひかれて訪れた豊田町で感じるのは「それぞれ個性はあるもの、出会う人一人ひと

NP O法人・地球緑化センターの派遣プログラム「緑のふるさと協力隊員」として中畝千明さん(20)が今年4月に豊田町に着任しました。協力隊は、農山村に興味を持つ若者を地域の力として地方自治体に1年間派遣するもので、豊田町での受け入れは40人目です。

緑のふるさと協力隊

しゅん・かん・びと

旬 関 人

今、話題のひとを紹介します

もっと楽しめるまちにする過程に少しでも関わりたい

活動が期待されます。

「どこに行ってもエネルギーをもらうばかりです。まずは地域になじみ、良いところ、もったいないところを、市民の一人としてまちの方と一緒に考えたり見つけたりしたいです。ここでたくさんの方と知り合いたい」と楽しみに話してくれました。これからの活動が期待されます。

中畝 千明さん

